

# 魂のいとなみを支える

## 音楽療法と芸術のちから

### ～支援を必要とする子どもたち～

現代社会が抱える問題は数多くありますが、特に多くの人に見られるのは心の問題です。人間関係、親と子の問題、自分自身を肯定できない等々。音楽療法の現場では様々な問題を抱えた人が訪れます。病名がなくてもストレスによって病が引き起こされることも多くみられます。今回は3回に亘って心のいとなみを支える音楽療法における音楽体験や芸術体験を通して皆様とともに考えていきたいと思えます。関心をお持ちの方の参加をお待ちしています。

(オーディオペーデ主宰 竹田喜代子)

新型コロナウイルス感染予防のため8月に予定しておりました内容を延期し、今回の開催としました。予防策をとったうえでの実施となりますのでご協力いただけますようお願いいたします。

2020年**10月4日(日)** 10:00～17:00

会場：ひらつか市民活動センター

#### 第1回 「幼児期のこどもの発達」

幼い子どもたちは、全身を使って自分の周りの世界のことを受け取っています。そして自分の体や心をつくっていくのです。子どもたちが、その子らしさを育てながら成長していきけるように、発達に合わせてどんな働きかけをしていくとよいのか、アントロポゾフィーの視点から、お伝えしていきます。

(江崎桂子)

10:00～11:30 【講義】

講師：江崎桂子（治療教育家、薬剤師、バイオグラフィーワーカー）

13:00～14:30 【音楽体験】

講師：前平加代子（アントロポゾフィー音楽療法士）

14:45～16:15 【幼児期のオイリュトミー】

講師：石浦江利砂（オイリュトミー療法士）

16:15～16:45 【振り返りと響きの体験】

参加費

各回 8,000 円

定員

30 名

主催：一般社団法人オーディオペーデ「シュタイナー音楽療法研究会」・そらいろの会  
後援：日本アントロポゾフィー医療の会